

第41期 中間報告書

2020年4月1日～2020年9月30日

寺崎電気産業株式会社
TERASAKI ELECTRIC CO., LTD.

証券コード：6637



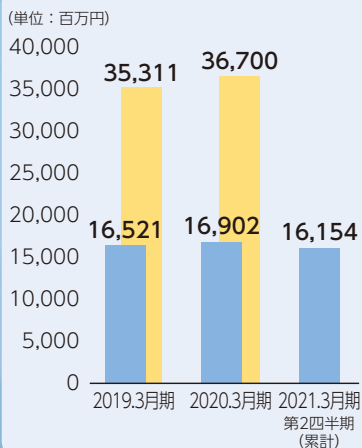
2021年3月期 第2四半期（累計）連結決算ハイライト

売上高

16,154百万円

前年同期比 4.4% 減

■ 第2四半期（累計） ■ 通期

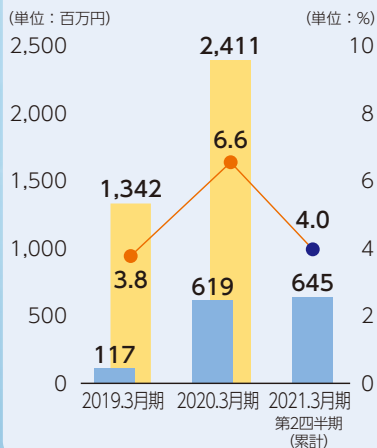


営業利益 / 営業利益率

645百万円

前年同期比 4.2% 増

■ 第2四半期（累計） ■ 通期
● 営業利益率

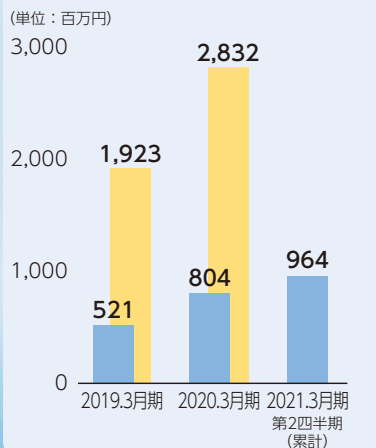


経常利益

964百万円

前年同期比 20.0% 増

■ 第2四半期（累計） ■ 通期

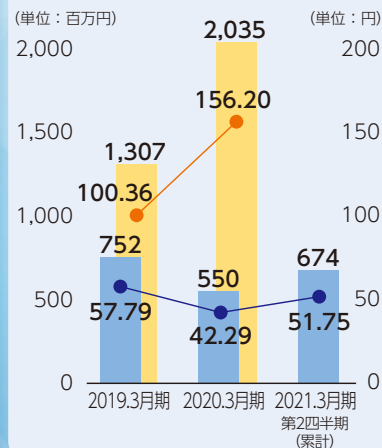


親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 / 1株当たり四半期(当期)純利益

674百万円

前年同期比 22.4% 増

■ 第2四半期（累計） ■ 通期
● 1株当たり四半期(当期)純利益



2021年3月期 業績予想

売上高

34,220百万円

前年同期比 6.8% 減

営業利益

1,700百万円

前年同期比 29.5% 減

経常利益

2,100百万円

前年同期比 25.9% 減

親会社株主に帰属 する当期純利益

1,400百万円

前年同期比 31.2% 減

配当金

中間 8円
期末 8円(予想)
年間 16円(予想)

詳細は、当社ウェブサイトに掲載されているIR情報をご覧ください。

<http://www.terasaki.co.jp/investor/>



株主の皆様へ

株主の皆様には平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期における当社グループを取り巻く経済環境は、国内において、新型コロナウイルス感染症(以下、感染症といいます。)の影響により、設備投資は弱い動きとなりました。海外における設備投資は、総じて下げ止まりの兆しがみられました。当社の主要顧客である造船業界においては、船価及び受注量が低迷しており、厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当第2四半期は、船舶用システム製品の高付加価値船及び海洋環境規制関連工事が堅調に推移したものの、機器製品が減少しました。

その結果、前年同期と比べ売上高は減少したものの、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は増益となりました。

2020年度下期は、引き続き感染症による影響が見込まれ、世界経済の回復には時間を要するものと予想しております。当社グループといたしましては、事業活動へのリスク



代表取締役 社長執行役員
寺崎 泰造

低減に取り組み、このような状況下においても、“TEAM TERASAKI”としてグローバルに連携強化を行うことで、お客様のニーズに迅速かつ確にお応えできるよう努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

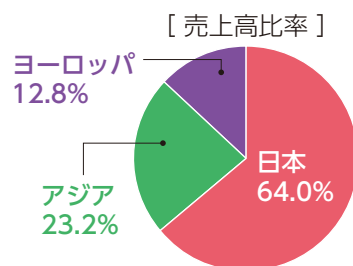
2020年12月

所在地別セグメントの概況

日本

売上高 ▶ **10,337**百万円 (前年同期比 0.8%増) ▶ セグメント利益 ▶ **591**百万円 (前年同期比 16.1%増) ▶

- ▶ **船舶用システム製品** LNG船及び陸電供給システム等が増加。
- ▶ **産業用システム製品** 海外プラント向けが減少するも、国内プラント向け及びコージェネレーションシステム等の分散型エネルギー関連が増加したことにより、増加。
- ▶ **メディカルデバイス** 新型コロナウイルス検査関連機器が増加するも、感染症の拡大によって医療機器やその他の臨床検査機器の新規設備投資が減少したことにより、減少。
- ▶ **エンジニアリング及びライフサイクルサービス** 産業向けエンジニアリング案件が減少するも、海洋環境規制関連工事及びレトロフィットビジネスが堅調に推移し、国内鉄道関連施設のエンジニアリング案件もあり、増加。
- ▶ **機器製品** 国内向けは、船用市場向けが堅調に推移するも、設備投資が低調に推移し、減少。海外向けは、感染症の影響が依然持続し減少。



アジア

売上高 ▶ **3,753**百万円 (前年同期比 19.8%減) ▶ セグメント利益 ▶ **315**百万円 (前年同期比 33.5%減) ▶

- ▶ **船舶用システム製品** 感染症による経済活動制限の影響により減少。
- ▶ **エンジニアリング及びライフサイクルサービス** 中国で海洋環境規制関連工事が堅調に推移するも、シンガポールでは感染症による海外渡航制限の影響があり、減少。
- ▶ **機器製品** マレーシアで感染症による約1ヶ月間の操業停止命令及び東南アジアにおける経済活動制限の影響により、減少。

ヨーロッパ

売上高 ▶ **2,063**百万円 (前年同期比 4.9%増) ▶ セグメント利益 ▶ **80**百万円 (前年同期比 24.1%増) ▶

- ▶ **機器製品** 英国内向けはほぼ横ばい、中近東向けが低調に推移するも、欧州向けが堅調に推移し、増加。
- ▶ **エンジニアリング及びライフサイクルサービス** 感染症による経済活動制限の影響により低調に推移。

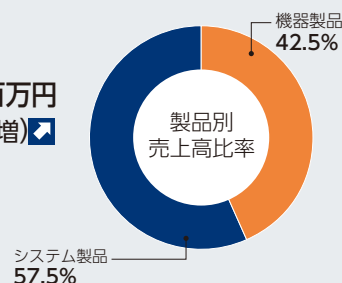
製品別 システム製品 (配電制御システム等)

売上高 **9,285**百万円 (前年同期比 2.6%増) ▶ 受注高 **10,392**百万円 (前年同期比 13.1%増) ▶ 受注残高 **17,354**百万円 (前連結会計年度末比 1,106百万円増) ▶

機器製品 (低圧遮断器等)

売上高 **6,868**百万円 (前年同期比 12.5%減) ▶

(注) 機器製品は、計画生産を行っているため、受注高、受注残高は開示しておりません。



テラメックス株式会社

TERAMECS

テラメックス株式会社は京都市伏見区に位置し、1986年2月の創業以来、臨床検査機器の開発を中心に、常に技術創造、事業創造をモットーとして、最新技術を活用した新しいテーマにチャレンジしてまいりました。

主に血液や尿などの全自動臨床検査機器や、小型の生化学分析装置を開発しています。また、バイオ関連機器では、LAMP法（遺伝子増幅法）やCLEIA法（化学発光酵素免疫測定法）を用いた装置を、直近では新型コロナウイルスの検査に役立てていただいております。



我々の開発は、お客様と歩調を合わせたパートナーシップが原則です。しかし、それはお客様からの要求をそのまま受け止めるだけといった、受動態としての役割を果たすことではありません。自らをひとつの能動態として位置づけ、自発的な企画提案を通して時代にマッチした製品開発を行います。ときには、お客様の持つ基礎技術を活かした全く新しい機器を提案するなど、隠されたニーズを掘り起こし、先進の製品開発に尽力しております。

臨床検査の分野は、予防医学が叫ばれる今日、最も基礎的で重要な位置づけを担っております。我々は、ますます高度化するこの分野で、次世代の新製品、新事業の開発のための研究用試薬や機材、機器、あるいは情報をお客様とともに発掘し導入することを使命とし、その独創的な企画・提案で広く社会に貢献し、「生命科学」という新しいフィールドで大きく進化し続けてまいります。



全自動尿分析装置



遺伝子増幅装置

● 会社の概要

商号 寺崎電気産業株式会社
 本社 大阪市平野区加美東六丁目13番47号
 創業 1923年(大正12年)10月1日
 設立 1980年(昭和55年)4月1日
 資本金 12億36百万円
 従業員数 2,041名(連結)
 572名(個別)
 連結子会社 国内5社、海外8社

● 取締役及び執行役員

代表取締役社長	寺崎 泰造	
専務執行役員	周藤 忠	経理・経営企画・技術・情報開示担当
専務執行役員	岡田 俊二	システム事業担当
専務執行役員	熊澤 和信	人事・総務・情報システム担当
執行役員	西田 昌央	システム事業船用担当 エンジニアリング・ライフサイクル事業担当
執行役員	梅本 好弘	機器事業担当
執行役員	小林 裕史	機器事業営業担当
取締役常務監査等委員	長瀬 順治	
取締役監査等委員(社外)	千代田 邦夫	
取締役監査等委員(社外)	鷹野 俊司	
執行役員	浜野 修次郎	人事・総務担当
執行役員	吉川 和宏	システム事業 メディカルデバイス担当
執行役員	西野 政治	機器事業 特命担当

● 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当 毎年3月31日
 中間配当 毎年9月30日
 定時株主総会 毎年6月下旬開催
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 電話 0120-094-777 (通話料無料)
 なお、特別口座に記録された株式に関するお手続き用紙(届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求取次依頼書等)のご請求につきましては、インターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>
 上場証券取引所 株式会社東京証券取引所 JASDAQ市場
 公告方法 電子公告により行います。
 当社ウェブサイト <http://www.terasaki.co.jp>
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行株式会社)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行株式会社)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社本支店でお支払いいたします。



〒547-0002 大阪市平野区加美東六丁目13番47号
 TEL: 06-6791-2701(代)

● 株式の状況

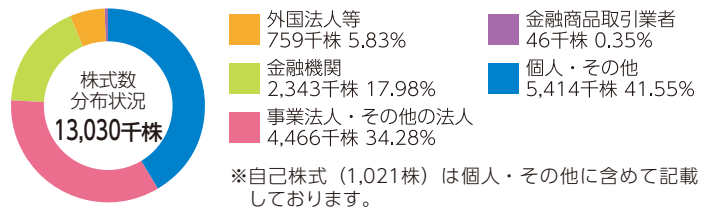
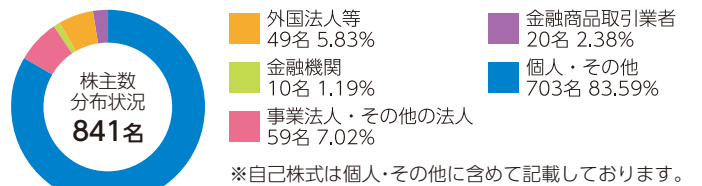
発行可能株式総数 52,000,000株
 発行済株式の総数 13,030,000株
 株主数 841名

● 大株主の状況(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社寺崎	2,200	16.89
寺崎 泰造	1,129	8.66
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,009	7.74
テラサキトラスト株式会社	866	6.64
荒巻 かおり	738	5.66
寺崎 雄造	677	5.19
テラサキ従業員持株会	664	5.10
株式会社芳山社	653	5.01
テラサキ共栄会	537	4.12
有限会社アーク	400	3.07

(注) 持株比率は自己株式(1,021株)を控除して計算しております。

● 所有者別分布状況



ウェブサイトのご案内

<http://www.terasaki.co.jp>

最新のトピックスをはじめ、業績報告や会社情報などをわかりやすくご案内しております。



見やすいユニバーサルデザイン
 フォントを採用しています。

